令和８年度 第一回 佐倉市産業振興推進会議（書面開催）

１．産業振興ビジョンの進捗について

賛成１１票により、産業振興ビジョンの進捗について承認されました。

２．産業振興ビジョンに対する意見について

1	"商工業・農業・観光の各分野の振興 各分野の推進状況のご報告や、現在直面している課題等について共有いただきありがとうございました。商店街の空き店舗や後継者不足、農業の担い手の減少や転作対応、そして、日本遺産を中心とした観光の通年での賑わい創出など、各分野の課題は深く結びついていると感じます。そこで、これらを個別に解決するだけではなく、「商工業・農業・観光の横のつながり」を創出し、課題解決への糸口を一体的に探る具体策として（相乗効果を生み出す具体策）として、「特定地域づくり事業協同組合制度」の活用を検討してみてはいかがでしょうか。 本制度を活用することで、以下のような効果が期待できると考えます。 ○各分野の季節波動を組み合わせ、年間を通じた雇用を作る 例えば、「春～秋は農業（収穫や転作の応援）」、「イベント期や週末は観光（城下町の案内や広場での物産販売・運営）」、「冬や平日は地元中小企業・商店街（既存企業の雇用維持サポートや空き店舗を活用したプロジェクト）」といった形で、地域全体で１人の人材（マルチワーカー）を年間雇用する仕組みです。これにより、事業者は「必要な時だけ、優秀な人材を確保できる」ようになります。 ○「空き店舗」×「若者（移住者）等」で商店街の活性化と後継者育成を図る 商店街で増えている「空き家・空き店舗」を、このマルチワーカーたちの住居や、彼らが共同で運営する「シェアショップ」、「コミュニティスペース」として活用します。地域をマルチに支える若者等が商店街に暮らすことで、高齢化が進む商店会の組織強化や活性化の直接的な起爆剤となります。また、マルチワーカーにとっては、様々な事業者の仕事を体験する中で地元の魅力に触れ、「将来の後継者」や「新規就農者」の候補を地域内でじっくり育てることにもつながります。 ○「若者等に選ばれる自治体になる」ための試行的な取組 自治体間競争の激化が進む中、佐倉市が他市との差別化を図るためには「多様で魅力的な働き方ができる街」としてのブランディングが有効であり、「日本遺産の城下町で、農業も商売も学びながら安定して暮らせる」というパッケージは、移住希望の若者にとって非常に魅力的です。まずは「商・農・観」の経営者を集めた小さな勉強会や、ニーズの掘り起こしなど、スモールステップからスタートしてみませんか。事業者間の「情報交換交流会」のような取組であれば、弊会の支援策がご活用いただけます。各分野の点と点をつなぎ、面としての地域経済を活性化させることで、既存企業の事業縮小を防ぎ、市民の安定した雇用を守る基盤になると確信しております。活性化の一助となれば幸いです。ご検討のほど、よろしくお願いいたします。
2	少子高齢化の中、ウルトラＣ的な施策は難しいと思いますが、ふるさと広場、田町の案件なども民間投資が進真ないという事は、佐倉のポテンシャルに「？」がつ

	くのかなと考えてしまいます。観光や歴史も大切だと思いますが、住みやすい街がこれからのテーマだと思います。住みやすい街とはどんな街なのでしょうか。今後ともよろしくお願いします。
3	今後は農地利用集積から集約へ変更して取り組まなければ農業者の所得向上に結び付かないと考えます。ついては、農業振興の施策の方向性に「生産性の高い圃場を創出するための基盤整備の推進」とありますので、農地集約と並行して進めて頂きたいと考えます。
4	1.商工業振興 旧来の商店では、顧客が求める商品やサービスを提供できなくなってきているので、空き店舗を利用して新規参入者がより出店しやすい環境を整え、新たな仲間づくりを応援するコミュニティの仕組み作りが必要だと考えます。 2.観光振興 ふるさと広場の拡張・整備が進められていますが、投資額が少なく来場者に魅力に乏しい施設や運営になってしまう気がします。何より印旛沼をもっと利用した方が良いと考えます。ｗｅｂやバーチャルリアリティーを活用した佐倉城址公園を演出することで、将来の佐倉城や大手門の再建につながると思います。
5	工業団地の道路・排水設備等のインフラ整備については、従来からの課題として挙げられていたところですが、今年の大雨や台風では、工業団地内を含めた市内各所で土砂崩れや冠水による通行止めが発生し、その重要性を改めて認識しました。周辺環境や気象条件なども変化しており、当時の整備を前提とするのではなく、現在の状況に照らして見直していく視点も重要だと考えます。抜本的な改善には相応の時間と費用を要すると考えますが、今回の被害状況を踏まえ、現在の排水能力が近年の大雨に対して十分なのかという点も改めて検証し、課題と優先順位を整理したうえで、計画的な改善を進めていただきたいと思います。
6	佐倉市オーガニックビレッジ推進部会の高性能バイオ炭、基盤整備を推進しながら他の作物への転換を推進、6次産業化農業従事者の減少・高齢化。どれも身近なものであり、持続可能な農業を実現するため、意欲のある人の職業を遂行したいと思います。
7	商工業振興、農業振興、観光振興に関するKPIで、観光振興のそれが大幅に未達となっています。このような中で、旧平井家住宅の事業者公募は、結果はまだ詳しい内容が公表されていないようで明確なことはいえませんが、非常に良い取り組みと考えられますので、今後、同じ、あるいは類似の案件をどしどし進めていただきたいと思われます。歴史的な物件ではなくとも手立てに知恵を出し合って、佐倉市のほうで音頭取りや斡旋するようなことを推進することを願っています。とりわけやる気はあるものの、環境や資金に恵まれない方が活躍できる場をつくっていただきたいと思っています。
8	フィルムコミッションについて、認知度がすすみロケ利用が増加している。 北総四都市でも連携して、より大きな範囲でロケ地を紹介し合うしくみをつくっていくのはどうか
9	この度の災害では、まず地域の整備が急がれるかと思います。商工業振興について、特に商業、商店街地区の活性化について、地域に住む人達からの声を大事にし

	てもらいたいと思います。この度の浸水被害にあわれた方々にはお見舞い申し上げます。